

初戦のもてぎラウンドでは車両製作が遅れてぶっつけ本番でしたが、今回はSUGOまで片道1300キロですが事前にテストに2回行きセットやタイヤの減りなどを徹底的にチェックして挑みました。



5月13日金曜日 公式練習

金曜はフリー走行を順調に走りますが2本目のセッションではクラストップタイム。いい流れだなと思ったら最後にミッショントラブルで載せ替えです。タイムは出てるものの信頼性などまだまだ不安一杯な週末のスタートですがスタッフが懸命に修復してくれて走行スケジュールは順調にこなすことができました。

5月14日土曜日 公式予選日 曇り AM8時

土曜日の朝一に予選、お昼から決勝と言う変則な形ですが予選はA、Bドライバーの合算タイムで決勝のグリッドを決めますので重要です。予選が8時から15分の走行でおこなわれます。まずはAドライバーの村上からコースイン。が、すぐに1台がコースアウトして赤旗中断になります。これにより予選が4分間となり1アタックのみという難しい状況の中ですが抜群に良い位置でうまくクリアが取れて完璧な走りができ、2位と1秒差のポールポジション。Bドライバーの筒井選手もさすがの安定の走りで合算で予選1位でST5クラスのポールポジションゲット。



5月14日土曜日 決勝 曇り PM2時半

8分のフリー走行も終わりグリッドへ。フォーメーションラップも終わりローリングスタートで3時間耐久スタート。が、1コーナーで2位のフィットに刺されてますがここは無理をせずに一旦譲ってから付いていきロードスターのコーナリング性能の良さを生かして最終から1コーナーで抜き返してポジション1位に戻りそこからはタイヤが良いうちに安全圏まで全開で引き離しに掛かりました。予定通り一定のマージンを築き1時間の走行をしてから筒井選手に交代。ここで給油とタイヤ交換も済ませて8位でコースに復帰。さすがの安定した走りで自分の仕事を完璧にこなしてくれて1時間の走行してくれてラスト50分、村上が乗り込みます。タイヤを労わりながら燃費との戦いということで燃料計とにらめっこしながらラスト20分で2位と40秒差の無線を受けます。絶対にガス欠だけは避けねばと思いながら燃費走行を続けて「ファイナルラップ」の無線。持ってくれ〜と祈りながら最終コーナーを登りチェッカーを受けてポールTOウインでNDロードスター初優勝です。



総括 チームオーナー村上

今回のSUGOはロードスターにすごく相性の良いコースだと解っていたので必ずチャンスがあると思いテストを繰り返してきたことが見事に実を結びました。ポールTOウインは本当に出来すぎですが非力なNCロードスターでST4クラスで戦ったデータを元に今回のセットアップも見つけて参戦6年目での初優勝に繋がりました。新型ロードスターでの優勝はマシン本体の素性の良さとスタッフ全員の頑張りがあってこそだと思います。残り4戦1つでも多く表彰台に乗れる様に全力で頑張りますのでぜひご支援よろしくをお願いします。

